

70 草津宿街道交流館
 春季テーマ展
 「郷土を伝えるもの
 - 寄贈資料展 -」



市制施行70周年を記念して、市民の皆さんから寄贈された資料の展示を開催中です。大切に受け継がれてきた資料をぜひご覧ください。

🕒 5月26日(日)まで
 9:00~17:00

📍 草津宿街道交流館 **¥** 入館料要

📍 草津宿街道交流館(草津三)

☎ 567-0030、FAX 567-0031

横井金谷画 ▶
 『溪澗鋭峰図』
 (草津市蔵)



✂ キリトリ

水生植物公園
みずの森

〒525-0001
 下物町1091
 ☎ 568-2332
 FAX 568-0955

K U S A T S U
歴史 ギャラリー

不思議な形をした石製の道具

No.197

この石を見て、どのように使う道具か想像できますか。これは縄文時代以降に使われていた石器の一つで、今回紹介するものは全長約7.3cmのもので、南溝畑遺跡(長束町)の発掘調査で出土したものです。

この石は、形が匙(スプーン)のように見えることから「石匙」と呼ばれるようになったとされていますが、実際には何かを切ったり削ったりするナイフなどとして、臨機応変に利用されていたようです。

一般的に東日本では縦長、西日本では横長の三角形に近い形状のもの出土が多い傾向にありますが、この石匙は縦長のもので、左側の側面に刃がつけられています。

江戸時代に現在の草津市で暮らし、石の長者として知られる木内石亭は、その著書『雲根志』で、石匙を「天狗飯ヒ」(ヒは匙のこと)と紹介しており、使い方にこそ言及していませんが、想像力をかき立てられる不思議な形の石だったようです。当時の人たちが天狗の使ったスプーンだと考えた時には、石匙を使って美味しそうにご飯をかき込む天狗を想像していたのでしょうか。

今回紹介した石匙は、4月3日(水)~26日(金)までの間、歴史文化財課のカウンターで展示しますので、ぜひご覧ください。



▲石匙

問 歴史文化財課(6階) ☎561-2429、FAX 561-2488

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津
 (FM78.5MHz)
 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)

市公式ソーシャルメディア



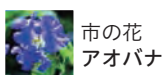
草津市メール
 配信サービス

市の情報をメールで
 配信するサービス

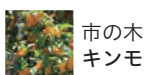


くさつチャンネル

さまざまな動画や、
 びわ湖放送(BBC)
 で放送されている
 草津スケッチもこ
 ちらから配信!



市の花
 アオバナ



市の木
 キンモクセイ

2月29日現在(対前月比)

- 人口139,803人(-110)
- 世帯数63,867世帯(-75)
- 男70,115人(-90)
- 女69,688人(-20)

国スポ開催まで
 あと

5 4 5 日

わたSHIGA輝く
 国スポ・障スポ 2025

障スポ開催まで
 あと

5 7 2 日



開催まで
 カウント
 ダウン!